

英語演習 2 限目 【各文のヒント + ディスコースマーカー編②】

これを読んで課題プリント③に取り組みなさい。

以下の文章は、特に練習しておいてほしい文章や、並べ替え問題の解法です。

その他、疑問の残る文章は、きちんと音読を通して練習しておくこと。

- Many people don't know that the difference between success and failure is often very small. (第1段落 第1文)

Many people don't know / 多くの人は知らない。

that / that 以下 (レポート文 FACTBOOK p46参照)

the difference (between success and failure)

違い → 成功と失敗の(違いの説明)

is often very small. / 動詞の発見(基本文系 説明型 FACTBOOK p18)

- For example, consider two clocks, running at a speed differing only by one second per hour.(第2段落 第1文)

consider two clocks, / 2つの時計を考えよう 命令文であることに気づこう

running at a speed / スピードで進む clock の説明が続く (FACTBOOK p204)

differing / 違っている speed の説明が続く(FACTBOOK p204)

only by one second per hour / たった1時間に1秒の差で 差を表す by をチェック

- (5) (a / can / who / gets / such / small / determine / difference) a gold medal.

◇ まず、動詞や助動詞に注目する→can の後ろは原形 その他 gets には3単現在の s がある

◇ such を発見 →such + a + 名詞の語順を考える such a small difference まで作れると GOOD

◇ ()外の a gold medal に注目し、gets a gold medal を作れると GOOD

◇ 名詞のまとめりである such a small difference を主語と考え、動詞に can determine、目的語に wh 節(FACTBOOK p276)が作れれば、PERFECT

(Such a small difference can determine who gets) a gold medal.

そのような小さな差が誰が金メダルを取るのかを決めることがある。となる。

- A small difference, often just a percent or two, if repeated over and over, will almost always lead to success in the future.

A small difference / ひとつの小さな違い

, often just a percent or two, / しばしばたった1,2% difference の説明

if repeated over and over / もし何度も繰り返されれば

(it is の省略 FACTBOOK p348)

will almost always lead to / ほぼいつも～という結果につながる 動詞の発見

success in the future. / 将来の成功

***主語** , ~ , **動詞** 主語と動詞の間に説明が挿入されることがよくあるので練習が必要！

【英語演習 ディスコースマーカー編】

まず、POLESTAR I のp108、MY WAY の p16 を読んでください。

本文は典型的なパラグラフの構成になっています。(右の図参照)

各段落がどの役割をしているか、下の空欄を埋めてみましょう。

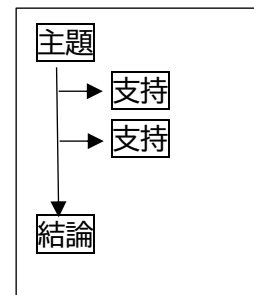
第1段落 → ()

第2段落 → ()

第3段落 → ()

第4段落 → ()

第5段落 → ()



第1段落は「主題」を取り扱っています。(小さな違いが大きな違いを生む)

第2・第3段落は、1限目でも触れたとおり、より具体的な説明(今回は具体例)を続けています。

この役割は、「主題」の根拠を示すために用いられています。(2つの時計のはなしや、オリンピックの勝敗をの話を使って、小さな違いで大きな差が生まれることを明確にしています)

それを踏まえて、第4段落では「結論」を示しています。(小さな違いが大きな違いを生む)

結論は主題と同じ場合も多く、初めに結論を言っておいて、結論で繰り返すことで大切さを際立たせています。

そして最後に、「ほんの少し努力の量を増やしてはどうか？」と意見を述べています。

このように、文の構成を意識し、各段落の役割を考えながら長文を読む訓練を続けてください。

考えたり、まとめたりしながら読むことで、内容は頭に残りやすくなりますし、思い出しやすくなります。

思い出してみましょう。

今回本文では何を何が何を生むといたかったのですか？

具体例2つは何でしたか？

筆者は最後になんて言っていましたか？